ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	NO.B-1(右岸側)	調査位置				北　緯	36 ° 49 ' 32.0000 "
発注機関	栃木県大田原土木事務所			調査期間	2008-08-18 ～ 2008-08-21	東　経	140 ° 08 ' 08.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	237.75 m	角度	180° 上 下 90° 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	
総掘進長	14.06 m								エンジン	ポンプ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0|10	10|20	20|30	打撃回数/貫入量 (cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	236.15	1.60	1.60		埋土(礫混り粘土) (FI)	茶褐～暗褐		軟	礫混り粘土主体 上部は植物根を多量に混入 φ5～40mm程度の角礫を混入			1.15	1/5	1/15	1	3/30	3						
2					粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐	密な		φ5～30mm程度の亜円～亜角礫主体 所々コア長L=3cm(推定礫径φ100mm)程度の玉石点在 礫間は砂と粘土で充填			1.45 2.15	7	15	11	33/30	33						
3											08/21 3.40	2.45 3.15	9	10	11	30/30	30						08/18
4	233.75	2.40	4.00									3.45 4.15	4	5	5	14/30	14						
	233.15	0.60	4.60		砂混り粘土 (CH-S)	暗褐～褐灰		硬い	含水中位　粘着中～やや大位 全体に細砂を混入 所々φ2～5mm程度の亜円礫や軽石を少量点在			4.45 5.15	3	3	3	9/30	9						
5	231.65	1.50	6.10		礫混り粘土 (CH-G)	褐灰		硬い	含水大位　粘着小位 φ2～20mm程度の亜角礫を混入 全体に細砂を混入し、所々多い			5.45 6.15	6	6	7	19/30	19						
6	231.15	0.50	6.60		粘土混り砂礫 (GS-C)	褐灰	中ぐらい		φ2～30mm程度の亜角礫主体 礫間は粘土と砂で充填			6.45 7.15	1	1	1	3/30	3						
7					砂混り粘土 (CH-S)	暗青灰～暗灰		軟らかい	含水中位　粘着中位 全体に細砂を混入し、所々多い 所々φ2～5mm程度の礫を混入			7.45 8.15	1/30			1/30	1						
8	228.85	2.30	8.90									8.45 9.15	13	20	17/7	50/27	>50						
9					粘土混り砂礫 (GS-C)	褐灰～暗褐	非常に密な		含水小位 φ2～30mm程度の亜円～亜角礫主体 コア長L=3～5cm(推定礫径φ100～150mm)程度の玉石混入 礫間は粘土主体で少量の砂を混入 礫は安山岩や石英斑岩が多い			9.42 10.15	33	17/6		50/16	>50						
10												10.31 11.15	45	5/1		50/11	>50						
11												11.26 12.15	50			50/10	>50						
12												12.25 13.15	13	10	14	37/30	37						
13												13.45 14.00	50/6			50/6	>50						
14	223.69	5.16	14.06									14.06											08/20